

第八十八卷 第一号 目次

池田真朗教授退職記念号

序

ジャン・ボダンの主権理論の「国際法」

文献における受容過程の素描

—主権理論確立過程検証のための準備作業として—

大石 裕

明石 欽司

賃貸借の終了による転借人への明渡請求の可否
—当事者距離関係「要素からの再構成」—
「原則立脚型交渉」とハーバード流交渉学
—ロジャー・フィッシャー教授の遺産—
弁済者代位の法定担保性と被代位債権の専属性

田村 次朗
平野 裕之

「活用(explotation)」概念と「権能」論

—PFIにおける公共施設等運営権を契機として—

片山 直也

ブラジル電子商取引法案における安全(セキユリテイ)対策、消費者の個人情報とプライバシー—
—平穩生活権の保障から自己決定権の保障へ—

前田 美千代

民法七二四条後段の定める除斥期間の柔軟化とその限界

金山 直樹

開発における統治と立法の意義
—正統性と正当性の相補作用による法の支配の構築—
債権譲受人の「第三者」性と基本的法律関係の処分

松尾 弘

民法改正と消費者契約

—惹起型錯誤(不実表示)を中心に—

鹿野 菜穂子

民事責任法と人・家族
—問題提起と課題設定—

武川 幸嗣

他人物による弁済

北居 功

EU国際私法における承認論

北澤 安紀

米国における特許無効判断の齟齬
—Baxter事件を中心に—

白石 友行

私法の自律性と憲法上の権利

小山 剛

ドイツ法における将来動産と将来債権の譲渡担保

水津 太郎

—商品倉庫の譲渡担保と包括債権譲渡担保を念頭において—

君嶋 祐子

池田真朗教授略歴・主要業績